

イ 本エリアにおけるジオツーリズム例

 宇和海と太平洋
 2つの海を訪ねるジオツアー

ジオツーリズム モデルコース

2つの海と文化のつながり

四国西南部に位置する足摺宇和海国立公園。愛媛県側、四国西部の城下町宇和島市が属する宇和海は入り組んだリアス式の海岸を持ち、高知県側の足摺の海岸は、切り立った花崗岩の断崖が続く雄大な景色を見せる。それぞれ魅力ある海が最大の観光資源で、海洋観光や新鮮な魚介類を味わいに全国から観光客が訪れる四国有数の観光スポットになっている。また、きめ細かい白砂が海岸に打ち寄せる大岐の浜もあり、3つの海岸線を楽しめるコースとなっている。



1 目	JR宇和島駅	徒歩10分	①宇和島城	車で15分	②真珠の加工体験	R56 車で30分
		R56 車で30分	③ゆらり内海	④宇和海展望タワー	R56・321 車で40分	⑤大堂海岸
2 目		車で15分	⑥柏島民宿(泊)			
	⑥柏島民宿	R321 車で30分	⑦グラスポート	車で5分	⑧足摺海洋館	
		車で5分	⑨竜串・見残し海岸	R321 車で15分	⑩足摺岬海上遊覧	車で30分
	⑪足摺岬	車で30分	⑫大岐の浜	R321・56 車で30分	土佐くろしお鉄道中村駅	



⑤大堂海岸



⑥柏島



⑦グラスポート



⑧足摺海洋館



⑨竜串・見残し海岸



⑪足摺岬

①宇和島城

慶長6年(1601)、築城の名手と言われた藤室高虎により建造。鶴島城と呼ばれる天守閣は、当時のまま現存する貴重なもの。

②真珠の加工体験

リアス式海岸による深い入江が、海面を穏やかに保つ宇和海は、真珠養殖地として恵まれた自然環境。この真珠の加工体験ができる。

③ゆらり内海

真珠貝を育てるために浄化した海水を使った潮風呂が特徴。休憩室から宇和海が見える。レストランでは新鮮な魚介類が味わえる。

④宇和海展望タワー

高さ110mの回転昇降式展望タワーで、展望室がゆるやかに回りながら昇っていき、リアス式の宇和海国立公園が一望できる。

⑤大堂海岸

柏島の東側に高さ120m～140mの断崖が十数キロメートル続く。花崗岩の絶壁と紺碧の海原とのコントラストは見る人を圧倒。

⑥柏島

日本に棲息する魚類のおよそ3分の1がいるという柏島。島の旅館、民宿では海の幸を使った郷土料理づくりが体験できる。

⑦グラスポート

竜串から見残し海岸までをグラスポートで渡る間、ポートの底に開いたガラス窓から海中のサンゴや美しい熱帯魚を観賞する。

⑧足摺海洋館

「土佐の海と黒潮の魚たち」をテーマに足摺半島周辺に生息する魚類を中心に約150種・約3000点を飼育展示している。

⑨竜串・見残し海岸

激しい風や波の浸食作用によって蜂の巣構造と呼ばれる特徴的な岩肌など、奇岩・奇勝が点在し、地学教材の宝庫と言われている。

⑩足摺岬海上遊覧

本物の漁船に乗って清水港岸壁から足摺岬までを遊覧。白波や浸食作用で大穴の開いた白山洞門、足摺岬など見どころが多い。

⑪足摺岬

白い花崗岩の断崖に太平洋の荒波が打ち寄せ、緑の亜熱帯植物が生い茂る中に、白亜の灯台が空に向かって立つ四国最南端の岬。

⑫大岐の浜

白浜青松の海岸が約1500mに広がる美しい浜辺はサーファーに人気。美しい砂は、足摺岬の花崗岩が浸食運搬されたもの。

足摺～南宇和 エリア内のガイドグループ活動状況

○旧庄屋毛利家を守る会

- ・主 な 活 動：旧庄屋毛利家屋敷ガイド
- ・ガイド体制：ガイド 10 名
- ・ガイド料金：無料
- ・連 絡 先：〒798-1112 愛媛県宇和島市三間町大字宮野下 833
TEL：0895-58-2151

○吉田町並みガイドの会

- ・主 な 活 動：町並及び史跡のガイド
- ・ガイド体制：ガイド 1 名
- ・ガイド料金：400 円
- ・連 絡 先：〒799-3751 愛媛県宇和島市吉田町沖村甲 612 番地 1
（（有）南四国ファーム内）
TEL：0895-52-0330 受付 9:00～16:00 FAX：0895-52-1595

○SGG 善意通訳クラブ 宇和島支部

- ・主 な 活 動：観光ガイド・通訳・翻訳・語学研修・その他国際交流関連事業
- ・ガイド体制：ガイド約 13 名
- ・ガイド料金：無料
- ・連 絡 先：TEL：0895-23-1329

○土佐清水市観光ボランティア会

- ・主 な 活 動：足摺岬、竜串、見残などガイド
- ・ガイド体制：ガイド 40 名
- ・ガイド料金：無料、ただし旅費協力金として 1,000 円～2,000 円
- ・連 絡 先：〒787-0452 土佐清水市竜串 3897
竜串観光案内所内
TEL 兼 FAX：0880-85-0405

○松尾さえずり会

- ・主 な 活 動：方言、文化巡り、歴史・文化体験
- ・ガイド体制：ガイド 10 名
- ・ガイド料金：無料
- ・連 絡 先：松尾地域活性化・地域づくりさえずり会
TEL：0880-88-1203

足摺～南宇和 ガイド養成テキストブック(案)

○テキストブック目次(案)

- | | | |
|----------------------------|-----------|--------------|
| 1. ジオパークの考え方 | 2. ガイドマナー | 3. 地域の概要 |
| 4. 地域資源の解説 | 5. モデルコース | 6. ちょっと寄り道情報 |
| 7. 交通アクセス | 8. 地図 | 9. Q & A |
| 10. 周辺情報(飲食店の営業時間、駐車場情報など) | | |

○地質資源の解説(案)



竜串(大竹小竹)

【解説ポイント】

- ・砂岩を主とし、海岸部では浸食により竹状を形成
- ・竜串では海底地すべりなどが観察できる
- ・大竹小竹は高角で均等に横切る節理に沿って酸化が進み、竹の節のようになった
- ・上空から見ると竜を串刺しにしたように見える！？



見残し(蜂の巣城)

【解説ポイント】

- ・砂岩泥岩の互層であるが砂岩がちである
 - ・層理面と海岸線がほぼ並行であるため、岬の先端には層理面が露出する
 - ・露出した層理面には大小のタフォニ(※)が発達し、「蜂の巣城」など造形美が見られる
 - ・こけしのように見える岩、人魚の寝殿もみられる
- ※タフォニ：岩盤表面に開口した楕円形の穴。岩盤表面から水が蒸発する過程で形成されると推定されている



グラスボート

【解説ポイント】

- ・暖かな黒潮の影響を受けた生物が生息し、多様な魚類や珊瑚が観察可
- ・群生するシコロサンゴは日本近海最大。伊勢エビ、ウツボが出迎えてくれる



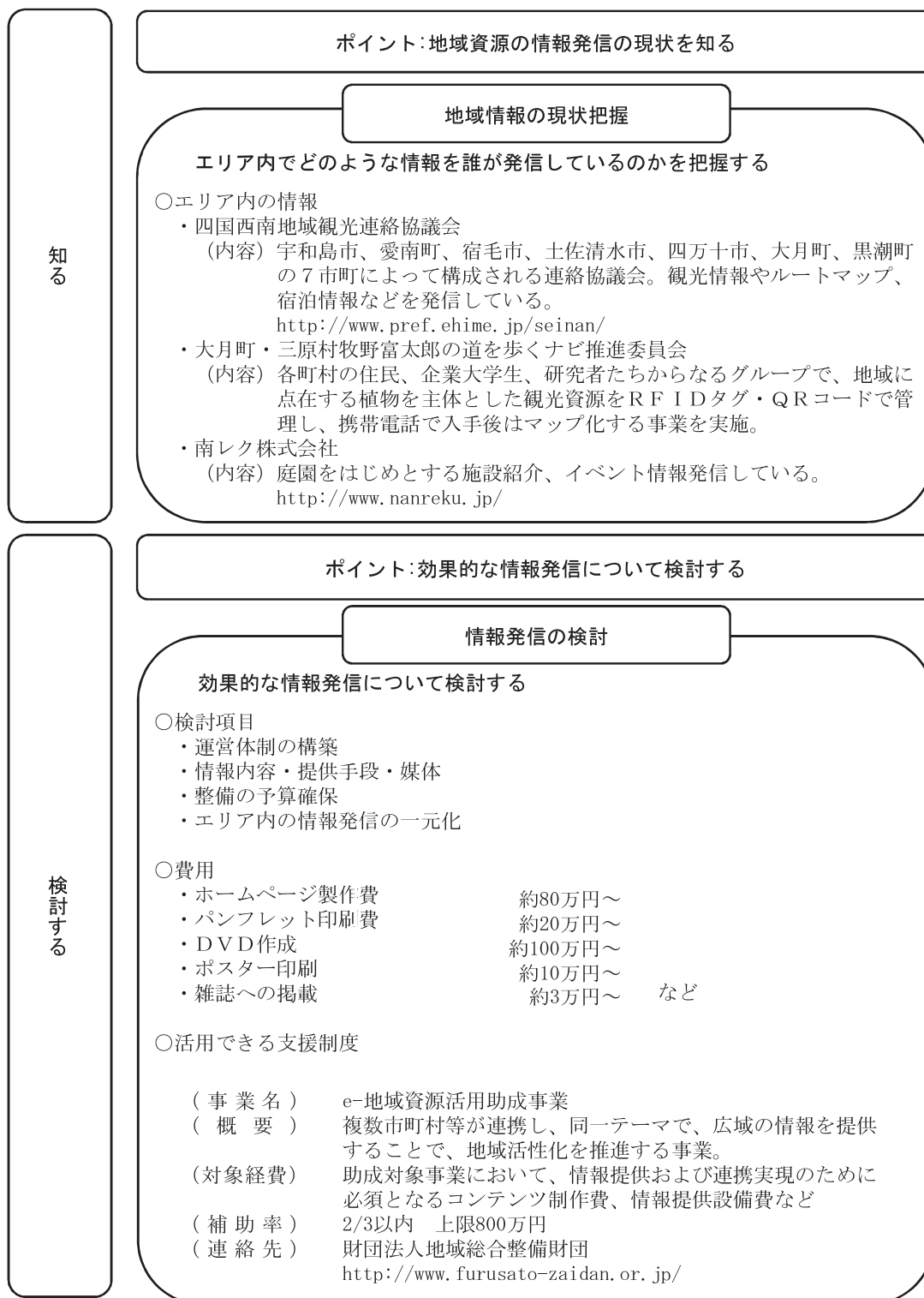
亜熱帯性植物群

【解説ポイント】

- ・太平洋に大きく突き出た半島地形により、高温多湿な気候条件を受け、アコウやビロウなどの亜熱帯の植物が生育
- ・松尾のアコウ自生地は国の天然記念物
- ・松尾の天満宮は亜熱帯植生からなる神社の森、昔子供の遊び場だった

(5) 広報・情報計画

○今後の取り組み



ポイント：多様な手段で戦略的に情報を届ける

情報発信

ジオパークに関連する地域の情報を戦略的に発信する

○効果的な情報発信（案）

・観光の行動・場面に適した3段階の情報提供

①観光客が計画を立てる段階での情報提供

- 必要な情報：その土地の魅力、宿泊施設、旬の情報、多様な体験メニュー、アクセス方法、かかる時間と費用、口コミ情報など。
- 提供手段：パンフレット、市販のガイドブック・旅行雑誌、ホームページ、インターネットなど。

②移動中の情報提供

- 必要な情報：乗り継ぎや時刻表、案内表示、地図、飲食店、休憩場所など。
- 提供手段：空港や駅などの交通結節点やサービスエリア、道の駅などでのパンフレットや案内地図の配布。カーナビゲーション、携帯電話版ウェブサイト、ラジオなど。

③観光地での情報提供

- 必要な情報：迷わずに安心して観光を楽しめる現地地図、経路案内、休憩場所など。観光客の発見や感動を誘導する情報提供など。
- 提供手段：案内看板やサインを地域の要所に設置、観光案内所における口頭での案内、パンフレット、案内地図、携帯電話版ウェブサイトなど。

○参考事例・情報

①観光客が計画を立てる段階での情報提供

・鎌倉日和

- (内容) 鎌倉・江の島の自然、文化、人々の暮らしや風情を動画を用い、インターネット限定で発信している。アロハス株式会社と江ノ島電鉄株式会社、カシオ計算機株式会社が協力して作成。

<http://www.enoden.co.jp/kamabi/index.html>

・ふるさと情報プラザ（（財）地域活性化センター）

- (内容) 東京都千代田区有楽町にあり、観光、物産、イベントなど様々な分野のパンフレットを都道府県市区町村別に無料で展示。地域の産品や観光のプロモーションを実施する地方自治体に、無料でスペース提供などの支援。

<http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/plaza/index.htm>

②移動中の情報提供手法

・南阿波まるごとナビ（農林水産省：農山漁村地域力発掘支援モデル事業）

- (内容) マイカー利用の県外客らが迷いやすい交差点などに専用のFM電波発信器を設置し、FM電波を利用した地元の情報提供している。カーラジオの周波数を合わせ、発信器に近づくと、音声で道案内やイベント情報など周辺の観光情報が流れる。

・交通結節点の活用

- (内容) レンタカー会社や道の駅などで地域の案内地図を配布する。

③観光地での情報提供手法

・大阪まちあるき音声観光ウォーキング

- (内容) 音声による観光ガイドをインターネット閲覧ソフトからダウンロードしてiPodなどの携帯オーディオプレーヤーに取り込む事で、大阪の観光、歴史スポットをより深く知り楽しむことができる。

・現地で情報提供

- (内容) 飲食店のランチョンマットに案内地図をプリントする。

参考事例・情報

○エリア内の情報発信の一元化

- ・山陰海岸ジオパークのホームページ

(内容) 山陰海岸ジオパークのホームページは、3府県の6市町が共同で運営するウェブサイトです。「日本列島誕生のダイナミクスを体感するジオパークの創造」を共通の基本理念として、山陰海岸の地形、地質、そして、自然と文化、食などの魅力を一体的に売り出している。

<http://sanin-geo.jp/>



(出典：山陰海岸ジオパークホームページより)

○観光地でのユニークな情報提供

- ・鳥取県・境港「水木しげるロード」にある妖怪饅頭の妖怪新聞

(内容) 特産品「妖怪饅頭」は、お土産として非常に人気で、旅行を終えてからも、「また食べたい」というリピーターが多い。人気の秘密は、包み紙で、新聞をイメージしたデザインには、地域ならではの情報が盛りだくさん書かれている。その情報は、購入する以外では読むことができず、観光客の発見や感動を誘導し、リピーター獲得に成功している。

<http://youkai.ocnk.net/>



(出典：妖怪饅頭ホームページより)

○視覚に訴える情報発信

- ・松山市デジタルサイネージ(※)で視覚的に情報を伝える仕組み

(内容) 松山市のバスターミナルなどには、地域のコマーシャルを見たり、地域情報を得ることができるデジタルサイネージが設置されている。タッチパネルで容易に操作することができ、地図情報を携帯に送ることなども可能である。

※デジタルサイネージ

表示と通信にデジタル技術を活用し、平面ディスプレイなどによって、映像や情報を表示する広告媒体。表示内容を多数、また必要に応じて切り替えることが出来るため、多様な映像広告を展開できる。現在は主に商業用途の広告や販促ツールとして使われているが、ホテルのコンシェルジュのような案内・相談ツール、学校や地域共同体でのコミュニケーションツールとしても使用が可能。

(6) 管理計画

○今後の取り組み

調 べる	ポイント: エリア内の地域資源の状況把握
	地域資源の把握・調査 エリア内で整備や保護が必要な資源について調査する ○調査項目 ・資源の保護状況 資源の現状、いたみの程度や原因など ・資源の周辺環境の整備状況 安全対策、案内板の有無、遊歩道・施設状況、清掃状況、アクセス状況、トイレの有無、地域住民の認知度など ○地域資源の把握・調査方法例 ・ジオパークガイド養成講座やエリア内の自然学習会などに参加 地域のひとと専門家とが一緒に資源の状況をチェックする ・大学との連携による調査 大学の連携事業を活用し、専門家による調査を行う
検 討 す る	ポイント: 地域の資源を守り、活かす方法の検討
	地域資源の保護方策の検討 地域資源の保護のための方法・体制などについて検討する ○検討項目 ・法的規制について 地域資源の保護のための法令・条例などの検討 ・保護方法について 地域資源を風化や盗掘などから防ぐ方法の検討 ・保護体制について 地域資源の保護や周辺清掃を行う人材と体制について検討 ○参考情報 ・竜串 (内容) 付近一帯の地質は第三紀層の砂岩で三千年から六千年の間、風蝕によっていろいろの形をつくり四十八景、五十八景といわれているが、手すりやロープなどの整備が現状では未整備のため、安全のためにも設置の検討が望まれる。 

ハード整備の検討

エリア内で必要なハード整備について検討する

○検討項目

- ・必要な設備の洗い出し
- ・既存設備の修繕・利活用
- ・遊歩道、ビジターセンター、看板、トイレ、休憩所などの整備

○整備方法例

- ・統一されたデザインの案内看板
(内容) 先進事例調査を行ったカナウインカジオパークでは、申請前からデザインや色を統一した説明看板を域内に整備している。



○活用できる支援制度

- | | |
|--------|---|
| (事業名) | 高知県観光案内板等整備事業費補助金 |
| (概要) | おもてなしの心で観光客を迎え入れる取り組みを進めるため、市町村などが所有する誘導標識や観光案内板の整備を支援。 |
| (対象経費) | 市町村などが所有する誘導標識や観光案内板の整備 |
| (対象団体) | 市町村など |
| (補助率) | 1/2 |
| (連絡先) | 高知県観光部おもてなし課
http://www.pref.kochi.jp/~omotenashi/ |
| (事業名) | まちづくり交付金 |
| (概要) | 地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かしたまちづくりを行うことにより都市の再生を推進し、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための制度。 |
| (対象経費) | 施設・面整備、調査、提案事業等 |
| (対象団体) | 市町村（都市再生整備計画の作成が必要） |
| (補助率) | 原則4.5/10 |
| (連絡先) | 財団法人都市みらい推進機構
http://www.toshimirai.jp/index.html |

○施設案

- ・コミュニティカフェ
(内容) 地域の人と観光客がカフェという空間を利用して、まちづくりを考えたり、情報を集めたりする場所づくりを検討する。公民館などの既存施設の利用も可能。
- ・ポケットパーク
(内容) 地域の生活環境を良くすることを重視し、気軽に休める憩いの場として、道路わきや街区内の空き地などわずかの土地を利用した小さな公園またはトイレなどを完備する休憩所を整備する。

○参考事例

- ・東北大学 カフェ図書館 P l a t
(内容) 東北大学の学生グループ「仙台都市デザイン研究会」が公共図書館がない福島県桑折町の蚕糸工場跡地に、カフェと図書館が融合した施設「カフェ図書plat」を運営している。
<http://cafe-tosho.net/>
- ・カナウインカジオパーク 地域インフォメーションセンター
(内容) オーストラリアのカナウインカでは、公民館のような場所で、住民がボランティアスタッフをしながらその地域の情報を提供しているインフォメーションセンターがあった。

ポイント：地域の資源を持続的に保護する

地域資源の保護

持続可能な維持管理体制を確立し、地域資源を保護する

○参考事例

・法的規制

－「四万十川条例」と「文化財保護法」（高知県 四万十川流域）

平成13年に環境をテーマとした魅力ある地域づくり、誇りある地域づくりを進めるよう市町村にまたがった条例を作っており、環境配慮指針等を定めている。また、この地域は全国で初めて複数自治体にまたがる流域全体で「重要文化的景観（※1）」として制定され、文化財保護法のもと、流域全体における保存・活用方法を模索している。

※1 重要文化的景観

地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの。

－日本一の鳥取砂丘を守り育てる条例（鳥取県）

県民共有の財産であり、世界に誇る地域の宝である鳥取砂丘を、砂丘利用者ととともに守り育てていくため、県や砂丘利用者の責務、県の保護施策、利用者への規制などを含めた条例を定めた。

・保護方法

－カナウインカの地域資源（鍾乳洞地形）を利用した公園

鍾乳洞特有のクレターのような地形を利用して、公園を整備している。公園内は花であふれており、小動物も住んでいるため、観光客や地域の人の憩いの場として利用されている。



・保護体制

－アドプトプログラム（※2）

高知県では「ふれあいの道づくり支援事業（ロードボランティア）」が県道で493団体、9,811人が清掃やごみ拾い、除草、花壇の世話などの活動をしている（平成20年4月現在）。

<http://www.pref.kochi.jp/~douro/kankyo/fureai/youryou.htm>

県立公園であるヤ・シィパークでは「ヤ・シィアダプトプログラム」として10の団体がパーク内や海岸の清掃や花壇の世話といった活動をしている（平成20年4月現在）。

※2 アドプトプログラム

地元企業や住民の皆さんが、地元の道路や川の土手のような公共物を自分たちの養子とみなし、定期的に空き缶拾いなどの清掃活動を行う、アメリカ生まれのボランティア制度。

－鳥取砂丘レンジャー（非常勤職員）

鳥取県では鳥取砂丘の地質、地形、植生、歴史などに関する解説指導や節度ある利用のための指導又は助言ができる人材を鳥取砂丘レンジャーとして平成21年3月から配置する予定（募集人数は2人）。

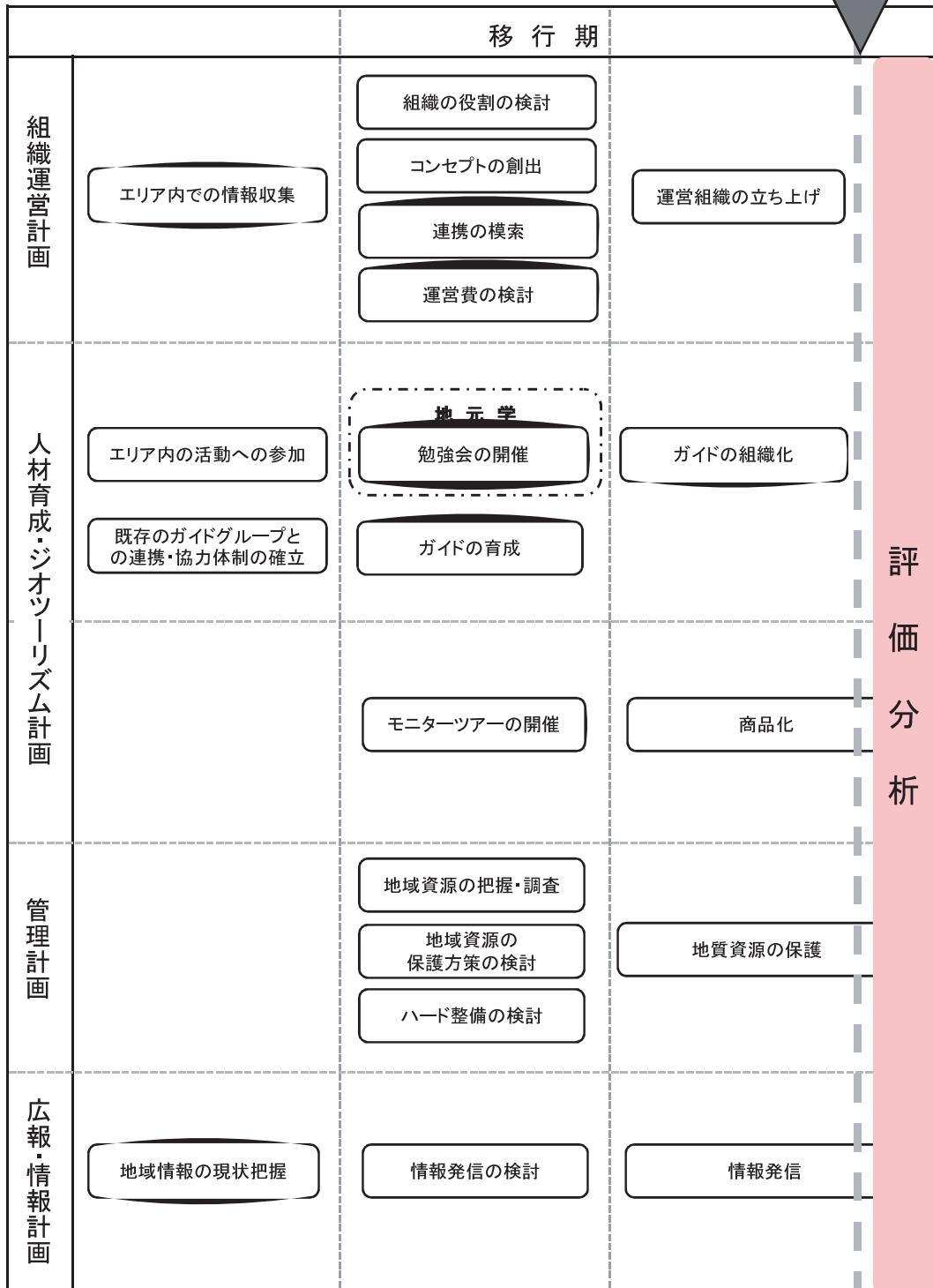
・保護費用

－新温泉町 新町「地域資源」保護育成基金創設プロジェクト

山陰ジオパークに含まれる新温泉町では、山陰海岸国立公園、ルーツ温泉（荒湯の高温自噴の天然性、歴史性）、バイカモ、杜氏、多くの先人等を新町の地域資源として指定し、その保護や育成のために関連するプロジェクトを支援する新たな基金を創設して『「地域資源」発信町』の実現をめざしている。

5 ロードマップ

JGN申請



GGN申請

